

赤ちゃん

フォト劇場 (27)

写真が生まるものがたり

七日目の太一郎抱く一葉を残して義父は逝きてしまえり
岩本豊子

三十六年前、産院から退院した日を思い出した。義父は椅子に座って待つておられた。そして抱いた孫を見つめはつきりした声で「かわいい、かわいい」と言われた。次の健診日の訪問を約束したが叶わなかった。

うつしよの光がみんな集まりて照らしてをりぬ沐浴の子を
斎藤美衣

出産したとき、こんなに明るい光を初めて見たと思った。その光は子どもの成長と共に次第に弱まった。子どもははじめはなんでも知っており、それを忘れることを成長ということかもしれないと思う。



写真・木畑紀子

沐浴は男もすなり衆目の息子の左手ぴりり筋張る

百留ななみ

パパも育休をとる時代。息子は育休こそ取らなかつたが育児には積極的。はじめての沐浴。見守る私の左手も強張る。耳を押さえて頭をしっかりと抱えて。晴れやかな笑顔の息子の息子。沐浴はパパの大きな手が頼もしい。

コロナ禍の世にいさぎよく産まれきて生きゆかん
児か顔の賢し
梶原道幸

母は戦争未亡人であったが、数年後に私を連れて再婚した。そんな母が貧困とたたかいつながら生活していた頃に撮った一枚の写真がある。幼い私を胸に抱いた着物姿の若い母であり、何故か大切に持っている。